

令和7年(2025) 第40回大会(通算70回)

全国漢文教育学会大会

〈主催〉 全国漢文教育学会

会長 杏林大学 詹 満江
開催校代表 國學院大學 石本道明

〈後援〉 文部科学省／東京都教育委員会／杉並区教育委員会

渋谷区教育委員会／温故学会／國學院大學

第1日 6/21 土

國學院大學久我山中学高等学校

公開研究授業 中学3年男子対象

10:10-11:20

受付 9:45～

学びて時に之を習ふ

—『論語』で贈ろう後輩へのアドバイス—

河野貴彦 教諭 (國學院大學久我山中学高等学校)

國學院大學久我山中学高等学校

研究協議

11:30-12:30

司会:井口辰也 教諭 (本郷中学校・高等学校)

塙保己一史料館

史跡研修会 先着40名

14:30-16:30

講義:「塙保己一の人と学問」(齊藤代表理事)

印刷体験:重要文化財『群書類従』版本

國學院大學 渋谷キャンパス 有栖川宮記念ホール

懇親会

17:30-19:30

受付 17:00～

第2日 6/22 日

國學院大學 渋谷キャンパス 5号館

研究発表

9:40-12:00

受付 9:00～

【小・中・高の部】

国学院我山

楚辞「漁父辞」実践報告

前園悠太 教諭 (昭和学院中学・高等学校)

創作した漢詩を生成AIにて具現化する試み

有木大輔 教諭・川人武 教諭 (筑波大学附属駒場中・高等学校)

漢文教材と地域探究と

—『孟子』「五十歩百歩」をふまえ、地域課題を考察する—

小林忠輝 教諭 (新潟県立松代高等学校)

「言語文化」の中での漢文学習

飯島崇史 教諭 (明星中学校・高等学校)

【大学の部】

楚辞「離騷」に於ける懸隔について

木村剛大 兼任講師 (國學院大學文学部)

江戸後期の藩校教育

— 水戸弘道館を例として —

関口直佑 研究員 (早稲田大学先端科学研究所)

明治期における「者」の訓読について

—『日本外史』『唐宋八家文読本』を資料として—

佐川繭子 准教授 (國學院大學文学部)

教職を目指す学生に興味・関心をもたせる漢文の授業の試み

—『論語』の言葉と日本の近代文学との比較を通して—

渡辺恭子 特任准教授 (大東文化大学文学部)

國學院大學 渋谷キャンパス 常磐松ホール

シンポジウム

13:10-15:30

【基調講演】

上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める
科目「言語文化」—高等学校国語科の必修科目における漢文教育—

上月さやこ 教科調査官 (文部科学省初等中等教育局教育課程課)

【討論】

漢文教育から考える「言語文化」—その理解と展望

シンポジスト

潮田央 主幹 (神奈川県立総合教育センター指導主事)

杉田隆時 教諭 (國學院高等学校副校長)

原田知明 講師 (山形県立米沢東高等学校)

内山精也 教授 (本会副会長・早稲田大学教育学部)

國學院大學 渋谷キャンパス 常磐松ホール

総会・閉会式

16:00-16:30

両日同時開催

國學院大學図書館

貴重書展示

9:00-19:30

『史記』・『論語』等 教科書関連漢籍

最終入館 19:00

國學院大學博物館

「江戸の漢文教科書」展示

10:00-18:00

最終入館 17:30

開催形態

対面・リモート併用のハイブリット方式 (リモートは2日目のみ)

参加費

会員 1,000円 一般 2,000円 学生 無料 ※ リモート参加も同額
研究授業のみ参加 500円 (資料代として。会員・一般共通。学生は無料)

申込方法

非会員の方、学生会員の方は、右QRコードより事前に
申し込みと参加費のお支払いをお願いします。

※ リモート参加の場合は、参加費払込を確認のうえ、入室を許可します。

ZoomのURLは、前日までに本学会ホームページに掲載します。

